

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

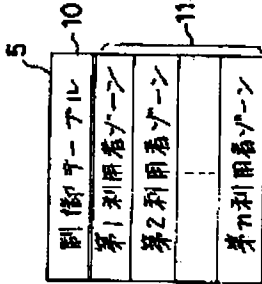
(11)Publication number : 60-207939  
(43)Date of publication of application : 19.10.1985

(51)Int.Cl. G06F 12/14  
G06K 17/00

(21)Application number : 59-063627 (71)Applicant : TOSHIBA CORP  
(22)Date of filing : 31.03.1984 (72)Inventor : YOSHINAGA YOSHIO

(54) RECORDING SYSTEM OF ELECTRONIC DEVICE

(57)Abstract:  
PURPOSE: To make a memory area efficient by forming plural user's zones in a memory of an IC card and using said user's zones with different properties.  
CONSTITUTION: A data memory 5 is divided into plural zones 11 in an electronic device such as an IC card having an IC chip consisting of a CPU and the data memory. Each zone can be accessed or not is specified in accordance with each user's property. Therefore, the user can utilize the IC card for plural different systems.



LEGAL STATUS  
[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]  
[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]  
[Date of final disposal for application]  
[Patent number]  
[Date of registration]  
[Number of appeal against examiner's decision of rejection]  
[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]  
[Date of extinction of right]

## ⑫ 公開特許公報(A)

昭60-207939

⑬ Int. Cl.<sup>4</sup>

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 昭和60年(1985)10月19日

G 06 F 12/14

7922-5B

G 06 K 17/00

6711-5B

審査請求 未請求 発明の数 1 (全5頁)

⑮ 発明の名称 電子装置の記録方式

⑯ 特 願 昭59-63627

⑰ 出 願 昭59(1984)3月31日

⑱ 発 明 者 吉 永 義 雄 東京都千代田区内幸町1丁目1番6号 東京芝浦電気株式会社東京事務所内

⑲ 出 願 人 株 式 会 社 東 芝 川崎市幸区堀川町72番地

⑳ 代 理 人 弁 理 士 鈴 江 武 彦 外2名

## 明細書の浄書(内容に変更なし)

明 細 書

## 1. 発明の名称

電子装置の記録方式

## 2. 特許請求の範囲

CPUとデータメモリとを有するものにおいて、前記データメモリを複数のゾーンに分割し、各ゾーンごとに利用者の属性によりアクセス可能かを指定する指定手段を設けたことを特徴とする電子装置の記録方式。

## 3. 発明の詳細な説明

## 〔発明の技術分野〕

この発明はたとえばCPUとデータメモリとからなるICチップを有するICカード等の電子装置の記録方式に関する。

## 〔発明の技術的背景とその問題点〕

最近、情報を記録するメモリカードとしてICチップを有するICカードが開発され、実用化されている。このICカードでは、利用者が用いるゾーンが単一であるため、記録および読出し時における制御条件、たとえば書き込み、

読出しの可否等が画一的となつてゐる。このため、利用者がICカードを2種類以上の制御条件で使用する際には、複数のICカードを携帯しなければならず、不便であり、不経済でもあつた。また、上記ICカードでは、利用者のゾーンに入出力するデータ量に關して、何ら制約がなかつたので、不要なデータを入出力することがあり、効率的でなかつた。

## 〔発明の目的〕

この発明は上記事情に鑑みてなされたもので、その目的とするところは、1つの電子装置におけるデータメモリの限られたメモリエリアを有効に、しかも多目的に使用し得るようにできる電子装置の記録方式を提供することにある。

## 〔発明の概要〕

この発明は、電子装置のデータメモリを使用者の属性によつてアクセス可能かを指定するようにしたものである。

## 〔発明の実施例〕

以下、この発明の一実施例について図面を参

照して説明する。

第1図において、1は電子装置としてのICカードであり、ICチップ2が内蔵されている。上記ICチップ2は第2図に示すように、図示しない外部のリーダー・ライターとICカード1とを電気的に接続するコネクタ部3、このコネクタ部3を介して上記リーダー・ライターから送られた命令、データを解読、演算、記憶するMPU(マイクロプロセッサ)4、このMPU4で処理されたデータが記録されるデータメモリとしてのPROM5によつて構成されている。上記MPU4は、上記コネクタ部3から送られた命令を解読したり、MPU4内の各部の動作を制御する制御部6、上記命令の種類により、必要に応じて数値計算を行う演算部7、内部制御プログラムおよび固定データを記憶しておくROM8、命令、データを一時記憶するRAM9から構成されている。

上記PROM5は第3図に示すように、制御テーブル10および第1から第n利用者ゾーン

11から構成されている。

上記制御テーブル10は第4図に示すように、利用者ゾーン番号が記憶されるゾーン番号記憶エリアa、各ゾーンのPROM5における先頭番地が記憶される先頭番地記憶エリアb、バイト数で示される各ゾーンのサイズが記憶されるバイト数記憶エリアc、データの記録、読出しが可か不可かを示すアクセス可能設定データモードが記憶される記憶エリアd、各エリアのデータのブロック数が単一か複数かを指定する指定データが記憶される記憶エリアe、各エリアの有効ブロックが全部か最終ブロックかを指定データが記憶される記憶エリアfによつて構成されている。上記記憶エリアdには記録用の設定データと読出し用の設定データが記憶され、「1」のとき「可」で、「0」のとき「不可」となっている。上記記憶エリアeの指定データが「1」のときブロック数が単一を示し、「0」のとき、ブロック数が複数であることを示すようになつている。また、上記記憶エリア

fの指定データが「1」のとき有効ブロックが全部であることを示し、「0」のとき有効ブロックが最終ブロックであることを示すようになつている。

前記各利用者ゾーンは、たとえば利用者の取引口座ごとつまり総合口座、定期口座ごとに対応したり、あるいは通帳のエリア、キャッシングのエリア、クレジットのエリア、レジャーのエリア等がそれぞれ対応するようになつている。

次に、このような構成において、この発明の記録方式について、第5図に示すフローチャートを参照しつつ説明する。たとえば今、リーダー・ライター(図示しない)から第6図に示すような命令部、アドレス部、データ部からなる電文がICカード1に供給される。この電文はコネクタ部3を介してMPU4内の制御部6に供給され、制御部6は上記電文をRAM9に一時記憶せしめる。ついで、制御部6は電文が記録用の電文であると解読する(ST1)。ついで、制御部6は電文中のアドレス部のゾーン番号に基

つき、制御テーブル10内の対応する属性、つまり、そのゾーンのPROM5における先頭番地、ゾーンサイズ、アクセス可能指定データ、ブロック数指定データ、有効ブロック指定データを読出す(ST2)。さらに、制御部6は読出したアクセス可能指定データが記録可か否かを判断し(ST3)、記録不可の場合、エラー処理を行う。上記ステップ3で記録可と判断した場合、制御部6はブロック数指定データが単一か複数かをチェック(ST4)、単一の場合記録済データがあるか否かをチェック(ST5)、このチェックの結果記録済データがある場合、エラー処理を行う。

また、ステップ4でブロック数指定データが複数であると判断するか、あるいはステップ5で記録済データがなしと判断した場合、制御部6は電文中のデータをPROM5の対応する利用者ゾーン11に記録せしめる(ST6)。なお、上記ステップ4でブロック数指定データが複数の場合、そのゾーンに対応する制御テーブ

ル10内のゾーンサイズの範囲内で追加記録が行えるようになっていゝる。

次に、利用者ゾーンに記録されたデータの読出し動作について、第7図に示すフローチャートを参照しつつ説明する。たとえば今、リーダー・ライター(図示しない)から第8図に示すような命令部、アドレス部からなる電文がICカード1に供給される。この電文はコネクタ部3を介してMPU4内の制御部6に供給され、制御部6は上記電文をRAM9に一時記憶せしめる。ついで、制御部6は電文が読出し用の電文であると判断する(ST10)。ついで、制御部6は電文中のアドレス部のゾーン番号に基づき、制御テーブル10内の対応する属性、つまりそのゾーンのPR0M5における先頭番地、ゾーンサイズ、アクセス可能指定データ、ブロック数指定データ、有効ブロック指定データを読出す(ST11)。さらに、制御部6は読出したアクセス可能指定データが読出し可か否かを判断し(ST12)、読出し不可の場合、エラー

処理を行う。上記ステップ12で読出し可と判断した場合、制御部6はブロック数指定データが単一か複数かをチェックし(ST13)、単一の場合、そのブロックデータをPR0M5の対応する利用者ゾーン11から読出し、コネクタ部3を介して上記リーダー・ライターに出力する(ST14)。

また、ステップ13でブロック数指定データが複数であると判断した場合、制御部6は有効ブロック指定データが最終か、全部かをチェックし(ST15)、このチェックの結果、全部のブロックが有効の場合、制御部6は対応する利用者ゾーン11から全部のブロックデータを読出し、コネクタ部3を介して上記リーダー・ライターに出力する(ST16)。上記ステップ15で最終のブロックが有効の場合、制御部6は対応する利用者ゾーン17の最終のブロックデータを読出し、コネクタ部3を介して上記リーダー・ライターに出力する(ST17)。

上記したように、ICカードのPR0Mに複

数の利用者ゾーンを設け、異なる属性で用いることができるようにしたので、ICカードを適用する対象システムの仕様に応じて、自由に利用者ゾーンを構成することができ、利用者は1枚のICカードを複数の異なるシステムに使用でき、大変便利である。また、ICカードに入出力するデータの大きさ、アクセス回数などを簡単に制御できる。さらに、利用者ゾーンに対するアクセス制限機能を有するため、不正な記録、改ざん、記録情報の漏洩などから保護することができ、安全性が高い。

なお、前記実施例、制御テーブルをPR0Mに設けたが、これに限らずMPUのROM内に設けるようにしても良い。また、利用者ゾーンの属性としては、ワード長を加えても良い。この場合、利用者ゾーンごとに異なるワード長を用いることができ、メモリ・エリアの効率化が計れる。

〔発明の効果〕

以上詳述したようにこの発明によれば、1つ

の電子装置におけるデータメモリの膨られたメモリエリアを有効に、しかも多目的に使用し得るようにできる電子装置の記録方式を提供できる。

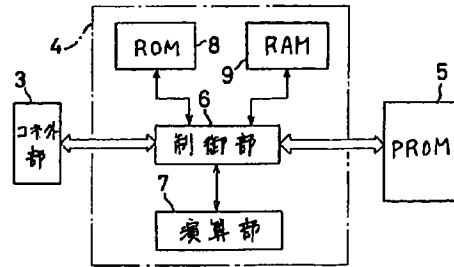
#### 4. 図面の簡単な説明

図面はこの発明の一実施例について説明するもので、第1図はICカードの斜視図、第2図はICチップの構成を示すブロック図、第3図はPR0Mの記録例を説明するための図、第4図は制御テーブルの記憶例を説明するための図、第5図は記録動作を説明するためのフローチャート、第6図および第8図は電文の例を示す図、第7図は読出し動作を説明するためのフローチャートである。

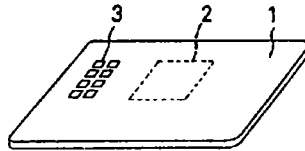
1…ICカード(電子装置)、2…ICチップ、3…コネクタ部、4…MPU、5…PR0M、6…制御部、7…演算部、8…ROM、9…RAM、10…制御テーブル、11…利用者ゾーン、a～f…記憶エリア。

出願人代理人 弁護士 鈴 江 武 彦

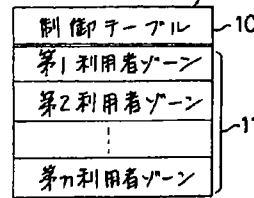
第2図



第1図



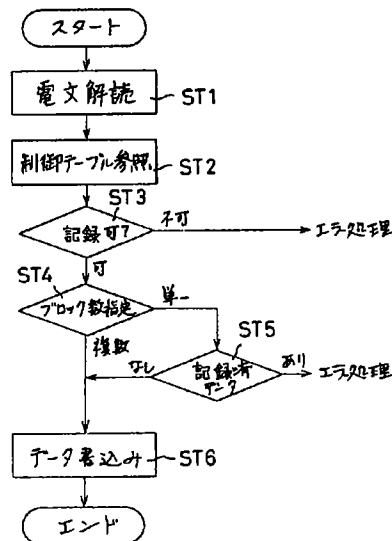
第3図



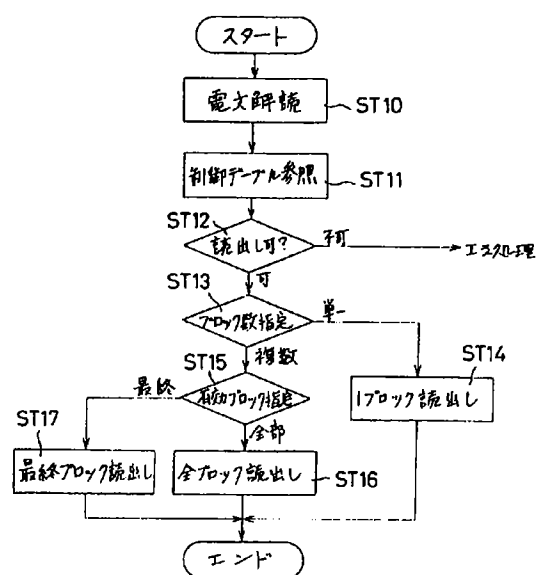
第4図

利用者ゾーン番号	先頭番地	ゾーンサイズ	アクセス可能モード指定記録	10	ブロック数指定	有効ブロック指定
第1利用者ゾーン	XXXX	XX	可(1)不可(0)	可(1)不可(0)	可(1)不可(0)	可(1)不可(0)
第2利用者ゾーン	XXXX	XX	X	X	X	X
...	...	...	...	...	...	...
第n利用者ゾーン	XXXX	XX	X	X	X	X

第5図



第7図



第6図

命令部	アドレス部	データ部
記録命令コード	利用者ゾーン番号	記録データ

第8図

命令部	アドレス部
読出し命令コード	利用者ゾーン番号

# 手続補正書

昭和59年5月9日

特許庁長官 若杉和夫 殿

1. 事件の表示

特願昭59-63627号

2. 発明の名称

電子装置の記録方式

3. 補正をする者

事件との関係 特許出願人

(307) 株式会社 東芝

4. 代理人

住所 東京都港区虎ノ門1丁目25番5号 第17森ビル  
〒105 電話 03 (502) 3181 (大代表)

氏名 (5847) 弁護士 鈴江 武彦



5. 自発補正

6. 補正の対象

明細書全文

7. 補正の内容

明細書の謄写(内容に変更なし)

